

更 尽 会

第2回総会および同窓会

(2003年度)

と き 平成15年6月7日(土)
と ころ ホテルサンガーデン日立

<プログラム>

13:00~	受付	3階ロビー
14:00~14:55	第2回総会	天空(西)
15:00~15:45	特別講演 「わが土木屋人生」 岩松幸雄先生(茨城大学名誉教授)	天空(西)
15:45~15:50	写真撮影	天空(西)
16:00~18:00	同窓会 1. 開会 2. 会長挨拶 3. 客員会員紹介 4. 客員代表挨拶 5. 乾杯 — 歓談 — 6. 中締め 7. 閉会	天空(東)

更尽会（こうじんかい）について

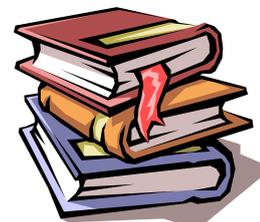
「更尽会」は茨城大学工学部建設工学科・都市システム工学科の卒業生および教職員を中心とする同窓会であり、平成 13 年 5 月 12 日に行われました学科設立 20 周年記念式典において発足しました。

本会の名称「更尽会」は、茨城大学元学長であり、本学科の設立にご尽力くださった黒木剛司郎先生に命名していただきました。

「更尽」とは、有名な漢詩「君に勧む 更に尽くせ 一杯の酒 西のかた 陽関を出ずれば 故人無からん」から二文字をとったもので、この漢詩は遠く辺境の地に赴任する親

友を送るにあたって王維という唐の詩人が読んだものです。

黒木先生の同窓会名称の命名に関しては、「本学科で共に学んだものの友情を温め、これからも親睦を図って欲しい」との願いが込められております。



更 尽 会 第 2 回 総 会

日時 平成 15 年 6 月 7 日（土） 14 時～15 時

場所 ホテルサンガーデン日立 天空西の間

議 事 次 第

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 議長選出
4. 議事
 - 1) 2002 年度活動報告について [第 1 号議案]
 - 2) 2002 年度決算報告について [第 2 号議案]
 - 3) 第 2 期（2003～2004 年度）幹事について [第 3 号議案]
 - 4) 第 2 期（2003～2004 年度）会長および副会長について
 - 5) 2003 年度活動計画について [第 4 号議案]
 - 6) 2003 年度予算について [第 5 号議案]
 - 7) 2003 年度会計監査役について [第 6 号議案]
 - 8) その他
5. 議長解任
6. 閉会

更尽会 2002 年度活動報告

1. 第1回総会および同窓会の開催について

更尽会第1回総会および同窓会を、平成14年6月1日（土）、水戸市民会館において開催し、2001年度の活動報告および決算、2002年度の活動計画および予算を決議した。また、総会后、山形耕一先生の特別講演および同窓会を行った。なお、今後の更尽会運営方針の参考にするために、総会出席会員へのアンケート調査を実施し、「創刊号」（2002.11発行）にて公表した。第1回総会および同窓会の次第は以下のとおりである。

(1) 総会

- 2001年度活動・決算報告について
- 2002年度活動・予算計画について
- 第1期新幹事について
- 2002年度会計監査役について

(2) 特別講演

「国立大学をめぐる諸状況－茨城大学の現状と未来－」 山形耕一 先生

(3) 同窓会

総勢91名の出席のもと第1回同窓会が盛況の中開催された。

2. 幹事会の開催について

2002年度は合計4回の幹事会を開催し、年会費の納入方法と更尽会財源の運用方法に関する検討、名簿情報の取り扱いに関する検討、第2回総会の運営方法などについて議論した。幹事会の開催日時・場所および議事内容は以下のとおりである。

(1) 第3回（2002年度第1回）幹事会

開催日時：平成14年5月11日（土）14:00～17:10

開催場所：水戸市民会館会議室

議事内容：①新役員について、②2001年度決算（案）について、③2002年度予算（案）について、④2002年度会計監査役について、⑤総会（第1回同窓会）について、⑥更尽会の今後の運営等に関するアンケート（案）について、⑦会報・名簿について

(2) 第4回（2002年度第2回）幹事会

開催日時：平成14年9月7日（土）14:20～18:20

開催場所：茨城大学都市システム工学科東棟3F会議室

議事内容：①第1回同窓会（2002.6.1）のまとめ及び今後の総会運営について、②会報・名簿について、③年会費の納入案内等について、④当面の予算措置について

(3) 第5回（2002年度第3回）幹事会

開催日時：平成14年12月15日（日）14:15～17:40

開催場所：茨城大学都市システム工学科東棟3F会議室

議事内容：①更尽会幹事の2002年度以降年会費前納結果について、②2002年度年会費納入状況について、③更尽会運営金の収支中間報告、④平成14年度卒業生の学年幹事候補者の内諾および年会費に関する案内について、⑤第2期幹事の選出方法および引き継ぎ等について、⑥会報・名簿WGの議事について、⑦次回総会および企画について

(4) 第6回（2002年度第4回）幹事会

開催日時：平成15年2月22日（土）14:30～18:15

開催場所：茨城大学都市システム工学科東棟3F会議室

議事内容：①2002年度年会費納入状況について、②第2期幹事について、③会報・名簿WGの議事について、④第2回総会&同窓会について

3. 会報・名簿の発行について

2002年11月に会報・名簿（合冊）として「更尽会創刊号」を発行した。1,000部を作成し、会員全員へ配布した。

会報については、更尽会第1回総会および同窓会の報告、山形耕一先生による総会記念講演を掲載したほか、学科の先生方（小柳武和学科長、福澤公夫教授、小峯秀雄助教授）からのご挨拶や研究室紹介を掲載した。また、「会員だより」として柴田育秀氏（S60年度卒）および加藤久人氏（S60年度卒）の原稿も掲載した。

4. 年会費の納入通知発送および集計結果等について

2002年度年会費の納入通知の発送作業を平成14年11月16日に実施した。納入期限を平成14年12月7日までとしていたが納入率はあまり上がらなかった。そこで、各学年の幹事から各会員に年会費納入の再依頼をした結果、最終的に2001年度分の追加納入件数62件、2002年度分の納入件数213件、そして2003年度以降分の前納件数166件となり、合計441件（882,000円）の年会費が納入された。年会費の納入結果は下表に示すとおりである。

また、年会費納入の利便性を高めるため、これまでの郵便振替口座に加え、銀行口座（常陽銀行）を開設した。2002年度の銀行口座への振込件数は28件あり、初年度としてはある程度の効果が見られた。

2002年度年会費納入結果

学科	期	卒業年度	人数(人)	納入額(円)	納入件数(件)				2002年度分 納入率 (%)
					2001年度 追加分	2002年度分	2003年度 以降前納分	計	
建設工学科	1	S59	32	156,000	6	14	58	78	43.8
建設工学科	2	S60	29	50,000	2	15	8	25	51.7
建設工学科	3	S61	36	14,000	0	5	2	7	13.9
建設工学科	4	S62	43	62,000	4	15	12	31	34.9
建設工学科	5	S63	38	66,000	4	16	13	33	42.1
建設工学科	6	H01	41	102,000	10	28	13	51	68.3
建設工学科	7	H02	43	94,000	15	23	9	47	53.5
建設工学科	8	H03	44	46,000	1	9	13	23	20.5
建設工学科	9	H04	39	18,000	0	5	4	9	12.8
建設工学科	10	H05	42	46,000	4	11	8	23	26.2
都市システム工学科	1	H06	63	8,000	0	4	0	4	6.3
都市システム工学科	2	H07	71	14,000	2	5	0	7	7.0
都市システム工学科	3	H08	73	86,000	8	27	8	43	37.0
都市システム工学科	4	H09	71	28,000	0	10	4	14	14.1
都市システム工学科	5	H10	69	20,000	2	5	3	10	7.2
都市システム工学科	6	H11	72	16,000	2	6	0	8	8.3
都市システム工学科	7	H12	69	20,000	3	3	4	10	4.3
都市システム工学科	8	H13	57	32,000	—	11	5	16	19.3
その他(準会員、2003年度新規会員)			—	4,000	—	1	1	2	—
合計			932	882,000	63	213	165	441	22.9

更尽会2002年度（2002.4.1～2003.3.31）決算

【収入の部】

(単位:円)

科 目	2002年度予算	2002年度決算	備 考
年会費納入 (2002.4.1～2003.3.31)	950,000	882,000	2,000円×441件
前年度繰越金	368,306	368,306	
計	1,318,306	1,250,306	

【支出の部】

(単位:円)

科 目	2002年度予算	2002年度決算	備 考
通信費	200,000	311,540	名簿・会報送付、年会費納入通知、幹事会開催通知等
備品・消耗品費	70,000	6,224	事務用品等
会議費	30,000	21,945	会議室使用料、発送作業アルバイト昼食代等
印刷費	300,000	415,850	名簿・会報、封筒・ハガキ等の印刷
交通費	50,000	0	幹事交通費等
総会運営費	300,000	191,834	会場設営、懇親会補助
雑費	0	12,090	年会費振込手数料
予備費	368,306	0	企画準備金、弔事関係経費等
次年度繰越金	0	290,823	
計	1,318,306	1,250,306	

監査の結果、上記収支決算が適正であることを証明します。

平成 年 月 日

2002年度会計監査役

印

印

更尽会第2期（2003～2004年度）幹事（案）

卒業年度	氏 名	
昭和 59 年度	松 本 智 良	大 谷 俊 夫
昭和 60 年度	加 藤 久 人	蛭 町 修 身
昭和 61 年度	会 沢 英 明	堀 江 義 明
昭和 62 年度	早 川 裕 史	長 山 公 信
昭和 63 年度	志 摩 邦 雄	佐 藤 啓 司
平成元年度	原 田 隆 郎	濱 崎 健
平成 2 年度	舟 川 勲	平 野 有 志
平成 3 年度	高 橋 学	松 田 節 男
平成 4 年度	金 森 豪	小 林 卓 也
平成 5 年度	郡 司 秀 昭	大久保 啓 一
平成 6 年度	三 瓶 大 介	金 原 和 彦
平成 7 年度	岡 崎 伸 二	横 川 青 児
平成 8 年度	西 坂 淳	越 川 満
平成 9 年度	石 川 慎 吾	前 川 直 子
平成 10 年度	大 山 丈 吉	飯久保 励
平成 11 年度	白 坂 浩 一	川 崎 努
平成 12 年度	阿 部 聡	坂 本 宏 司
平成 13 年度	鈴 木 健 司	吉 野 哲 平
平成 14 年度	鈴 木 久美子	吉 川 慎太郎

更尽会 2003 年度活動計画（案）

1. 第2回総会および同窓会の開催について

(1) 開催日・会場

- 1) 開催日：平成15年6月7日（土）
- 2) 会 場：ホテルサンガーデン日立

(2) 次 第

1) 総会

- 議事内容：①2002年度活動・決算報告について
②2003年度活動・予算計画について
③第2期（2003～2004年度）幹事について
④2003年度会計監査役について 他

※今後の更尽会運営方針の参考にするために、総会出席会員へのアンケート調査を実施する。
調査結果は、会報にて公表する予定。

2) 特別講演

「わが土木屋人生」 岩松幸雄先生

3) 同窓会

会員相互の交流を深める機会とし、情報交換及び親睦を図る。

2. 幹事会の開催について

2003年度は4回の幹事会を予定（内1回は既に実施済み）しており、会報および名簿の発行、年会費の集金、定例総会などの定常業務について運営するほか、大学と会員および会員間のコミュニケーションをより一層拡大するための長期的な方針についても議論する。また、メディア時代に向けての情報発信・受信についても検討する。幹事会の開催予定等は以下のとおりである。

(1) 第7回（2003年度第1回）幹事会

開催日時：平成15年5月17日（土）
議事内容：第2回総会の議事内容について 他

(2) 第8回（2003年度第2回）幹事会

開催予定：平成15年8月頃
議事予定：第2回総会の総括および更尽会報の発行について 他

(3) 第9回（2003年度第3回）幹事会

開催予定：平成15年12月頃
議事予定：2003年度年会費の納入状況確認 他

(4) 第10回（2003年度第4回）幹事会

開催予定：平成16年2月頃
議事予定：第3回総会の実施に関する検討 他

3. 会報・名簿について

会員相互の交流を図るための情報提供を目的として、更尽会の活動内容、学科・研究室の現況等の紹介を掲載した会報を発行する。

(1) 会報・名簿の発行について

- 1) 会報・名簿を合冊として作成し、会員に発送する。
- 2) 本来、「全会員へのサービス提供」が本会の趣旨であるが、緊縮財政のため、会報・名簿については、配布希望を募り、希望者を対象に発送することとする。
なお、客員会員には全員に配付予定である。

3) 会報発送予定：平成15年10月頃

(2) 名簿情報の更新について

- 1) 全会員に「名簿確認票」を配布（総会開催案内に同封）し、名簿情報を収集する。
- 2) 返信されてきた「名簿確認票」の記載内容に基づいて、各会員の名簿情報を更新する。
- 3) 更新した名簿情報を会報・名簿に掲載する。

4. 年会費の納入通知および集計作業について

(1) 年会費納入通知について

2003年度の年会費の納入通知は、第2回総会（平成15年6月7日実施）後のできるだけ早い時期に発送する。なお、納入率があまり上がらなかった場合は、昨年と同様に各学年の幹事から各会員に年会費納入の再依頼を実施する。

(2) 年会費納入方法の拡充検討について

また、年会費納入の利便性を高めるため、2002年度は銀行口座（常陽銀行）を開設したが、2003年度は年会費の自動引落しやコンビニエンスストアなどでの支払いの可能性についても検討する。さらに、年会費納入者の確認作業を軽減するため、会員の個人ID（会員番号）の割付についても検討する。

5. ホームページの開設について

情報化社会の背景を考慮して、更尽会ホームページの開設・運営方法について検討する。

- ホームページの試作
- システム管理・運営方法の検討・協議（会報・名簿WG、幹事会）
- できるだけ早期のサーバー決定、運用の開始

更尽会2003年度（2003.4.1～2004.3.31）予算（案）

【収入の部】

(単位:円)

科 目	2002年度決算	2003年度予算	備 考
年会費納入 (2003.4.1～2004.3.31)	882,000	900,000	
前年度繰越金	368,306	290,823	
計	1,250,306	1,190,823	

【支出の部】

(単位:円)

科 目	2002年度決算	2003年度予算	備 考
通信費	311,540	250,000	名簿・会報送付、年会費納入通知、幹事会開催通知等
備品・消耗品費	6,224	5,000	事務用品等
会議費	21,945	20,000	会議室使用料等
印刷費	415,850	350,000	名簿・会報、封筒・ハガキ等の印刷
交通費	0	0	幹事交通費等
総会運営費	191,834	100,000	会場設営、講師謝礼
雑費	12,090	15,000	年会費振込手数料等
予備費	0	450,823	企画準備金、弔事関係経費等
次年度繰越金	290,823	0	
計	1,250,306	1,190,823	

更尽会 2003 年度 会計監査役（案）

卒業年度	氏 名
昭和 61 年度	須 原 茂
平成元年度	島 村 明

更 尽 会 会 則

平成 13 年 5 月 制定

第 1 章 総 則

(目 的)

第 1 条 本会は、「更尽会」と称し、会員相互の親睦を図るとともに、会員の技術、識見、品格の向上を図ることを目的とする。

(事 業)

第 2 条 本会は、前条の目的達成のため、次の事業を行う。

- (1) 会員名簿の発行
- (2) 会報の発行
- (3) その他目的達成に必要な事業

(会 員)

第 3 条 本会の正会員は、次のとおりとする。

- (1) 茨城大学工学部建設工学科及び都市システム工学科の卒業生
 - (2) 茨城大学大学院工学研究科建設工学専攻及び都市システム工学専攻の修了生
 - (3) 茨城大学大学院理工学研究科都市システム工学専攻の修了生
2. 茨城大学大学院工学研究科及び理工学研究科博士後期課程の修了生で、主指導教官が都市システム工学科の教官であった者、及び本会の目的・事業等に賛同できる者は、本会の準会員とする。
3. 茨城大学工学部建設工学科及び都市システム工学科の教職員及びその職にあった者は、本会の客員会員とする。

第 2 章 役 員

(役 員)

第 4 条 本会の役員として、会長 1 名、副会長 2 名、幹事各学年 2 名を置く。

2. 役員の任期は 2 年とし、再任を妨げないものとする。

(幹 事)

第 5 条 幹事は、各学年の会員より推薦し、総会において承認する。

2. 幹事は、幹事会の構成員となる。
3. 幹事は、本会の運営に必要な事務を行う。

(会長及び副会長)

第 6 条 会長及び副会長は、幹事の互選により選任する。

2. 会長は、会務を総理し、本会を代表する。
3. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けた時は、会長が予め指定する副会長がその職務を代理する。

第 3 章 会 議

(総 会)

第 7 条 会員総会は、毎年 1 回会長がこれを召集する。

2. 会長は、必要な場合には、臨時に総会を召集することができる。

(幹事会)

第 8 条 幹事会は、毎年 1 回会長がこれを召集する。

2. 会長は、必要な場合には、臨時に幹事会を召集することができる。

3. 幹事会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 本会の予算及び決算
- (2) 事業計画
- (3) その他本会の運営に関する重要事項

第 4 章 会 計

(収入源)

第 9 条 本会は、正会員及び準会員より徴収する会費、寄付金及びその他の諸収入により運営する。

(会 費)

第 10 条 本会の正会員及び準会員は、年会費として 2,000 円を納付するものとする。

(会計年度)

第 11 条 本会の会計年度は、毎年 4 月 1 日より 3 月 31 日までとする。

(会計報告)

第 12 条 収支決算は、毎年 1 回これを各会員に報告する。

(会計監査)

第 13 条 会計監査役は、会長が会員のうちから 2 名を推薦し、総会において承認する。

2. 監査役は、本会の会計事務の監査を行うものとする。

第 5 章 雑 則

(会則の改正)

第 14 条 この会則の改正は、総会の議決による。

(委 任)

第 15 条 この会則に定めることのほか、本会の運営に関して必要な事項は、幹事会が定める。

附 則

この会則は、平成 13 年 5 月 12 日から施行する。